

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		◎食事中の雰囲気が活気がない。 スタッフがご入居者様に関わるときの雰囲気作り、楽しくする仕組みの構築。	食事のアクティビティとしての側面に注目する	入居者、スタッフが一緒に食事をとり、連帯感を持たせ、会話しながら、明るく食事のできる雰囲気作りを意識する。	12ヶ月
2		◎思いや意向のある際、必要時に必要なアプローチができる取り組み。スタッフ側から気持ちをくみ取る関わりや姿勢に力を入れ質の向上につなげる。	スタッフの入居者様との関わりを深める	できるだけ自然な形で一人一人のご要望を聴取し、記録に残す。その内容をカンファレンスで実現に向け話し合う。	12ヶ月
3		◎避難訓練 地域の方と一緒に訓練する。隣近所の方と連携の取れる仕組み作り。	地域住民と連携した防災訓練、火災訓練等の実施を行なう。	消防訓練の計画時、隣接する住宅の住民に訓練参加について依頼を行なう	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。